

受託企業5割超が復調確信

本紙上半期・健食受託製造業調査

本紙編集部では恒例の健康食品受託製造の上半期(12月～5月)アンケート調査を主要60社に対して行った。編集部独自の裏付け調査とともに総合的に判断した結果、震災のあった昨年同時期に比べて受注及び売り上げが増加した企業が5割を超えたことがわかった。設備投資・増設に関しては7割超が実施と答えた。素材提案型営業がこれまで以上に増えていること、懸念されていた加工賃の低価格競争が少なくなってきているなど良い傾向も出ている。一方、電気料金値上げや災害時リスク分散などへの対応は一部を除いて進んでいないのが現状だ。

素材提案型の営業が増加

この半年間の「設備投資・増設」7割超が実施

本紙編集部が行った健康食品受託製造の上半期アンケート調査上編集部裏付け調査で、昨年の上半期に比べ、受注、売り上げともに増加した企業が半数を超えた。昨年の同時期調査と比べると、受注増加の企業は42%↓54%に、売り上げ増加の企業は38%↓52%となった。

震災のあった昨年3月以降、さまざまな要因で受注減少が心配された。しかし、顧客である販社の復調が一部を除いて早かったため、昨年下半年あたりから、すでに製造各社の受注は正常に戻りつつあった。

過去半年あるいは近々で設備投資あるいは増設を実施と答えた企業は77%もあった。新工場建設こそわずかながら、製造ライン増設が圧倒的に多かった。

また、原料サプライヤーや企画会社とのコラボなどで、特定の素材を提案しながら受注を目指す素材提案型営業がこれ

まで以上に増えているのが実態だ。受託加工企業でも主要企業はGMPなどを取り、すでに高いレベルに達しているため、独自の素材を持つことで、他社と差別化を図り、有利に商談を進めていくという傾向がますます強くなってきている。

それに加えて、ここ数年多かった加工賃を安くする価格競争が、少しずつではあるが収まってきている。利益を度外視して売り上げだけでも大きくしようとする、仕事を増やし、機械を動かしたいという企業という企業業がいくつもあつたのは事実だが、利益率の悪い競争は業界を疲弊させるだけであり、有益性はあまりない。

過度な価格競争が減ってきたのは歓迎すべきことだ。

逆に今後の懸念材料としては、電気料金値上げや災害など緊急時のリスク分散、エネルギー、資材調達問題への対応である。昨年の震災直後には真剣に検討する企業が多かったが、自家発電などを除いて、現状では多くの企業が緊急時に十分な対応ができるかどうか不明だ。

震災前のより調子だった景気が戻りつつあり、それを確信している企業が多くなっている。受託製造業の調子は業界全体の景気動向を左右するものであり、この先は明るいと思われることができる。(※14～19面に関連記事)

ヘルスライフビジネス

発行/ヘルスライフビジネスマガジン社 発行/編集人・木村忠明
〒113-0034東京都文京区湯島3丁目36番3号 歌川ビル4F
TEL03-3839-0751 FAX03-3839-0753
http://www.health-mag.co.jp/ E-mail: info@health-mag.co.jp

2012年(平成24年) 毎月1日、15日発行
5月15日(第538号) 平成5年11月24日 第三種郵便物認可
年間購読料 ¥31,500(消費税込) 振替: 00190-5-611380

今号の主な内容

- ニュース
震災の影響で11年度コラーゲン販売量微減・・・2
- 解説
口コミやらせ問題で消費者庁が対応・・・6
中国保健食品市場・・・7
- 特集
蜂の力(プロポリス、RJなど)・・・8～11
健食受託製造企業・・・14～19

健食の原料・OEM情報が一堂に!!

健食原料・素材・OEM展

出展企業募集開始

2013

2013年4月23日(火)～24日(水)

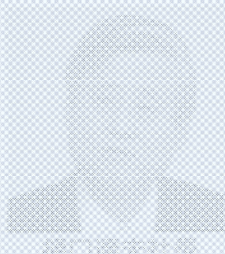
東京国際フォーラム 展示ホール

2012/5/15

「ボカリ」海外売り上げ23%大増

「オロナミンC」29%増の594億5000万円

大塚HD 決算発表



大塚製薬社長 橋口隆夫氏

大塚製薬は14日、第1四半期決算を発表した。売上高は前年同期比2.1%増の1,000億5,000万円、営業利益は同1.1%増の1,000億5,000万円、経常利益は同1.1%増の1,000億5,000万円、純利益は同1.1%増の1,000億5,000万円であった。また、第1四半期の売上高は前年同期比2.1%増の2,500億5,000万円、営業利益は同1.1%増の2,500億5,000万円、経常利益は同1.1%増の2,500億5,000万円、純利益は同1.1%増の2,500億5,000万円であった。

ブラシル酵素と消化性ローヤルゼリー

高周波温熱機器インディバ、特許取得 特殊プロビタミンCと併用し脂肪滴抑制

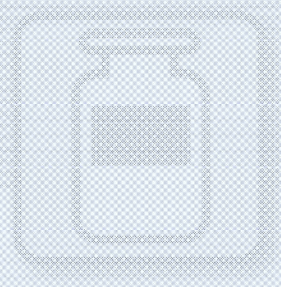
インディバ・ジャパン(東京都墨区、03・57688871)は、同社の高周波温熱機器インディバと特殊なプロビタミンCの併用によ

インディバ・ジャパン

り、脂肪滴、セラリトを抑制することを確認し、併用法で特許(特許4872028号)を取得した。プロビタミンCは、温熱を加えても分解されず、保持できる温熱安定化剤を同社独自に配合した高濃度の特殊プロビタミンC。
プロビタミンCは、主にスキンケア成分として使用されてきたが、インディバと併用することで、体全体に対しても効果が得られるとして、同社は展示会などで積極的にアピールしていく。

24名を対象に、3週間の施術を行った実験では、温熱安定剤とインディバを併用した被験者は、インディバのみ、温熱安定化剤なしのプロビタミンCとインディバを併用した被験者よりも有意な結果が得られている。大腿部、臀部の皮下脂肪率とセラリト表皮凸凹度で、顕著な抑制効果がみられたほか、脂肪滴蓄積を54%抑制する。

Aliment News



包装加工専用工場として
新富士第二工場が誕生します
ご期待ください!

高品質で安全・安心な健康・サプリを
より早くよりリーズナブルに...

www.aliment.co.jp 健康・栄養食品/サプリメント/食品の総合受託メーカー

アリメント工業株式会社

本社 TEL 0556 (54) 3360 (代) 東京支店 TEL 03 (3271) 5521 大阪支店 TEL 06 (6341) 3700